

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	リコンディショニングⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎302・3階実技室
担 当 教 員	海東 翼	実務経験と その関連資格	大学所属アスレティックトレーナー・JSPOアスレティックトレーナー・NASM-Pes			
《授業科目における学習内容》						
アスレティックトレーナーの業務として必須であるアスレティックリハビリテーションについて、実技を踏まえて学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テスト評価:授業内評価:出席評価 70:20:10						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①アスレティックリハビリテーションテキスト⑦ 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
事前に周知される授業範囲について、テキストを読んでおくことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
使用テキストに記載のある事を元に、学問に対する理解を深めていく。進行形態は、各項目を基礎・応用に分け、講義・実技を踏まえ、進行していく。また、一方的な授業ではなく、学生に主導権を与え、グループディスカッションや、プレゼンテーションを行う機会を設定し、思考力・指導力を養える様に授業を構成する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	頸椎捻挫について学ぶ			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	頸椎捻挫後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	腰部疾患について学ぶ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	腰部疾患のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	肩関節脱臼後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	肩関節脱臼後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	投球障害について学ぶ		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	投球障害のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	肘関節疾患について学ぶ		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	肘・手関節疾患のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ①		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	肘・手関節疾患のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ②		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢のスポーツ疾患について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	肘・手関節疾患のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ③		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫について学ぶ		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	足関節捻挫後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	膝MCL損傷について学ぶ		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	リコンディショニングⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎302・3階実技室
担 当 教 員	海東 翼	実務経験と その関連資格	大学所属アスレティックトレーナー・JSPOアスレティックトレーナー・NASM-Pes			
《授業科目における学習内容》 アスレティックトレーナーの業務として必須であるアスレティックリハビリテーションについて、実技を踏まえて学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 期末テスト評価:授業内評価:出席評価 70:20:10						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ①アスレティックリハビリテーションテキスト⑦ 配布プリント						
《授業外における学習方法》 事前に周知される授業範囲について、テキストを読んでおくことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》 アスレティックリハビリテーション(以下AR)は事前に網羅しておくべき科目(知識)が非常に多く、とっかかりにくい科目であると言える。ただし、ARはケガによって一線から離脱した選手が、競技復帰する際に必須の項目(科目)であり、その立案するARの内容一つで選手のパフォーマンスが大きく変わると言っても過言ではない。選手とARを通じて時間を共にする中で、選手の競技復帰を影で支え、尽力出来るように共に学んでいきましょう！						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	膝MCL損傷後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	膝ACL損傷について学ぶ			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	膝ACL損傷後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	扁平足障害について学ぶ			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。	
		各コマにおける授業予定	扁平足障害に対するアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	大腿屈筋群肉離れについて学ぶ		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢のスポーツ障害について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	大腿屈筋群肉離れ後のアスレティックリハビリテーションについて実技を踏まえて学ぶ		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学ぶ	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	コリンジョンスポーツについて学ぶ		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめ1	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	第1~14コマのまとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	総まとめ2	ATテキスト・配布プリント	授業範囲のテキストを一読すること。
		各コマにおける授業予定	第15~30コマのまとめ		